県高校選抜、貫録の優勝

若い清水東、先制及ばず

3位決定戦 青丘が鋭い攻め披露

'80SBSカップ
国際ジュニアサッカー
—最終日—

'80SBSカップ国際ジュニアサッカー大会（日本サッカー協会、静岡新聞社・SBS静岡放送主催）最終日は、二十四日午後一時から、静岡市の県営草薙球技場で三位決定戦と決勝を行い、県高校選抜が優勝した。

青丘を下し波に乗る清水東と秋季国体出場メンバーで固めた県高校選抜の決勝は、県選抜が巧妙な崩け引きで清水東の若い守備陣をかわし大差5点を奪い、守っては清水東をう忌に抑え決勝した。韓国の青丘—清水商の三位決定戦は、総合力に勝る青丘が2—1で清水商を退けた。決勝戦終了後、優勝した県選抜にSBSカップが贈られた。

決勝、県高校選抜—清水東　前半16分、県選抜は河合（左上）がGK勝亀（左下）をかわしてシュート、1—1に追いつく＝草薙球技場で

▽決勝
県高校選抜 5（2—1、3—1）2 清水東
▽交代【清】若林（青島）西山（勝亀）
▽得点者【県】河合、高山2、高橋、神尾【清】青島、反町
▽アシスト【県】高橋2、後藤【清】滝
【清水東】4・3・3
亀口田田見月田町島入
（勝川梅牧浄宮梨反青沢　滝）
GK　名
FB　東
FB　国
HB　国
HB　工
HB　商
HB　東
FW　北
FW　東
FW　北
FW　東
12　GK　13
2　GK　3
10　FK　18
27　SK　14

前半、清水東は厳しい運動量と攻守の切り替えの早さでペースをつかみ、14分に左サイドに走り込んだ滝からのセンタリングを青島が決めて先行した。リズムをつかめない県選抜は、オープンスペースへ高山を走らせ突破口を開こうとする。そして、16分に高山のシュートがゴール前にこぼれたところを河合が決めて同点とした。気分的に余裕の出た県選抜は、31分、右サイドから高橋がセンタリング、高山が合わせて2—1で前半を終了。

後半に入って、連戦の疲れがみえ動きが少なくなった清水東のスキをつく県選抜は、3分に高橋のパスを、再び高山がシュートして3点目。さらに、オープンスペースを巧みに使い、14分には高橋、37分には神尾がゲットして点差を広げた。最後の力を振り絞る清水東は、両サイドをいっぱいに使いスピーディーな攻撃を繰り返すが県選抜の厚い力べが破れない。ようやく終了間際にゴール前の混戦から反町がシュートを決めたが、時すでに遅かった。清水東は若いパックスが県選抜のうまい攻撃を防ぎ切れなかった。それにしても、清水東の岩手の健闘ぶりは見事。来季以降も大いに楽しみだ。

▽3位決定戦
青丘（韓国）2（2—0、0—1）1 清水商
▽交代【青】裏実龍（申俊雄）崔明哲（南延珠）柳海相（李何東）【清】大石（木下）石貝（大

（静岡新聞１９８０年８月２５日朝刊）